

## 平成28年度 食育推進事業状況（平成29年 3月末現在）

《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

参考資料1  
(差し替え版)

推進団体	ページ
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	7
仙台市保育所連合会	8
仙台市PTA協議会	9
仙台市食生活改善推進員協議会	10
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	12
宮城県生活協同組合連合会	15
日本チェーンストア協会東北支部	21
仙台農業協同組合	22
仙台白百合女子大学	23
宮城大学	24
仙台市市民局	25
仙台市子供未来局	27
仙台市経済局	32
仙台市教育局	35
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	39

## 推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿6/27~7/1 生習9/1~9/6 貧血8/31~ 10/12	糖尿病精密検査実績25名 生活習慣病検査実績222名 貧血検査⇒1,087名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの 対応事業	保育士、栄養士、 教諭等	・食物アレルギー対応の手引き(改訂版)を活用し、指導・助言を行う。	通 年		仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通 年	妊婦健診実績 延べ 97,259名	仙台市医師会
2	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診(2か月、4~5か月、8~9か月)、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通 年	乳児健診実績 25,825名 1・6歳児健診実績 ⇒8,976名 3歳児健診実績 ⇒8,711名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健 指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定(身体活動量・食事バランス)し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、平成27年度から検査項目に血清尿酸が追加されたが、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	平成28年7月 ~平成29年3月	特定健診実績(7~10月・1月) 71,689名 *市国保 基礎健診実績(8~10月・1月) 37,646名 動機付け支援実績(7月~2月)	仙台市医師会

## 推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・食の大切さやより良い食事に関する啓発	通年	通年	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月4日（土）	614名参加	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育 所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年	通年	仙台歯科医師会
2	支援学校での摂食指 導	児童・保護者 職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	3回（5/19, 6/9, 12/15）	5/19, 6/9, 12/15 の3回実施	仙台歯科医師会
3	仙台市PTAフェスティ バルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活についての啓発	2回	11/13に1回実施	仙台歯科医師会
4	3歳児カリエスフリー 85プロジェクト 【新規】	乳幼児	・乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	通年	仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月4日（土）	614名参加	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	1回	11/2(1回)	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等で唾液検査を通して健康的な食生活について啓発	2~3回	10/16宮城野区 10/16若林区 10/23青葉区(宮城地区)	仙台歯科医師会

## 推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民,特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「子供のおやつを考えるコーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月		仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	栄養ヘルスダイヤル	一般市民	・健康や栄養,食生活,生活習慣病に関して,電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年		宮城県栄養士会
3	県民栄養公開講座 【追加】	一般市民	・高齢化に伴う摂食嚥下の問題を絡め,口から栄養を摂ることの重要性について公開講座を開催した。「食べる」を体験しながら考えよう！」	11月 年1回	実施回数 1回 参加者 127人	宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「子供のおやつを考えるコーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月		仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係他団体と連携し,最新の健康・栄養情報を食事診断,健康・栄養相談,栄養講話等実際の体験を通じて普及啓発	11月 年1回	実施回数 1回 参加者 498人	宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を,講和と調理実習で啓蒙・啓発する。 第1回「はじめよう!上手に塩エコ生活 ～塩分を控えて美味しさを高める工夫～」 第2回「脂質異常症の予防について皆さんで学んでみませんか? ～脂質異常症予防のおすすめメニューを食べてみよう～」	9月 11月 年2回程度	実施回数 2回 参加者 延べ49人	宮城県栄養士会
4	栄養ヘルスダイヤル 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康や栄養,食生活,生活習慣病に関して,電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年		宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター,幼稚園,児童館,福祉協議会,支援センター等の栄養講話や,調理実習			宮城県栄養士会

(公社)宮城県栄養士会

6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など			宮城県栄養士会
7	仙台市介護予防月間	一般市民	・バランスのよい食事について展示 ・栄養相談（バランスチェック）			宮城県栄養士会
8	被災者支援事業【追加】	仮設住宅在住・転居した方	・東日本大震災で被災された方へ健康・栄養情報・旬の食材を使用した弁当の試食を実施した	年1回 11月	実施回数 1回 参加者 22人	宮城県栄養士会
9	被災者支援事業【追加】	南三陸集約拠点8団地、復興住宅他	・被災された南三陸町の方々を対象に、看護協会活動に同道して健康相談	通年	実施回数 31回 他スタッフ全体会議10回	宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・平成25年度に改訂された「食に関する指導の手引き」をもとに、「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。	通年 各学校において適宜指導を振り返り計画の見直しを図る。 教育活動全般での食育推進を目指す。	各学校において適宜計画を見直し、地域の特性を生かした食育を推進している。	小・中学校教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	・給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 ・「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。	担任と栄養教諭、学校栄養職員が連携し、食育を推進している。	小・中学校教育局
3	「給食週間」	小・中学生	・児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。	1月下旬に各校で実施。仙台市役所にて学校給食フェアを開催	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	・献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 ・食物アレルギーへの対応について周知する。	月ごとに実施	バランスの良い食事や地場産品の良さなど毎月テーマを設けて啓発に努めている。	小・中学校教育局
2	「望ましい生活習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	・保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施	保護者の協力を得て、生活習慣を改善する取組を行っている。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 仙台市を7つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。	各地区の実践を冊子にまとめ、2月に研究発表を行った。(約90名参加)	小学校 (仙台市小学校教育研究会学校給食部会)
2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 年間の研修計画を立て、定期的に研修会を開催する。	8月に県と合同の研修会を実施した。(約150名参加)	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員を通して働きかけ、各園の状況に合わせて実施</li> <li>食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス）</li> </ul>	通年	約100名(保護者) 郷土の汁作り講座参加後に試食会を実施した。	幼稚園 私立幼稚園連合会

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食えることが楽しくなる食育	教諭・職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける</li> </ul>	通年	仙私幼青葉区担当者会(30名)食育推進委員より、講話を実施、その後食育について情報交換を行った。	幼稚園 私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-2 食える事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食えることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食えることが楽しくなる食育	園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく</li> </ul>	通年	各園、給食たよりや園だより等において周知した。	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物を栽培、収穫し食べる体験</li> </ul>	通年	野菜の収穫(らっかせい・きゅうり・大豆等)及び調理の体験	
2	偏食を減らすための取り組み	園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。</li> <li>意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る</li> </ul>	通年	150名味噌づくりと味噌汁作り	幼稚園 私立幼稚園連合会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。</li> <li>・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。</li> </ul>	3月 リーフレット配付	公立 3,237家庭 私立 9,977家庭	保育所 保育所連合会 子供未来局
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する</li> <li>・保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。</li> </ul>	通年 10月18日 1回	148名	保育所 保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や講義の研修を通して、食育や衛生管理への理解を深める。</li> </ul>	調理実習4回 8月24,25日 9月7,8日 講話 1回 9月1日	調理講習 72名 講話 77名	保育所 保育所連合会 子供未来局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子料理教室等の開催</li> <li>給食試食会</li> <li>栄養士さんの講話</li> <li>ミニ菜園づくり など</li> </ul>	通年	参加者数等は年度末に集計の予定	仙台市PTA協議会

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>田植えや収穫などの農業体験活動</li> </ul>	通年	参加者数等は年度末に集計の予定	仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育の日(毎月19日)アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して, 地産地消の野菜でカルシウムたっぷり(小エビ, スキムミルク)のおこのみ焼きを販売	10月23日(日)1回	2900名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と, 健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて, 生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ヘルスメイトが「TUNAGU」(繋ぐ)パートナーシップ事業(第3弾)	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに, 料理講習会を実施する。 ・お隣さん, お向かいさんを訪問し, 塩分測定器「減塩くん」を使い, みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	今年度実施せず		仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
2	肥満予防講習会	幼稚園保護者	・「適正体重を維持しましょう(自分の適性体重をしりましょう, 週1回は体重を測定しましょう)」の内容で講習会を実施	平成29年1月27日(金)	16名 大変好評でした	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(秋保)
3	食生活改善普及事業(よい食生活をすすめるための料理講習)	一般市民	(テーマ) ①骨とカルシウムについて ②食育について 等	7月22日(金)	15名 毎日の食生活に乳製品を取り入れて健康維持	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(秋保)

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだがわかる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について, バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	平成29年1月29日(日)	保育園, 幼稚園年長から小学生の親子対象 21名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
2	親子の食育教室(川前児童館依頼)	子どもと親	・料理教室 川前児童館の子どもと親20組対象 はっと汁(郷土料理) (宮城食生活改善推進員会)	6月9日 1回	親子で40名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)

## 仙台市食生活改善推進員協議会

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習 メニュー (主食) 桜海老の炊き込みごはん(主菜) 鮭と大根の和風スープ(副菜) 豆腐と野菜のチーズチャムプルー(デザート) パインのアップサイドダウンケーキ	今年度実施せず		仙台市食生活改善推進員連絡協議会(秋保)
2	シルバー認知症予防教室【追加】	地域の住民(高齢者)	・テキストに基づく調理実習による講習会 低栄養予防, 口コミ予防, 認知症予防を行い, 元気に長寿を全うすることができる講習会	11月18日(金) 宮城保健センター 1回	参加者 21名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
3	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業【追加】	地域の住民	・60代後半～高齢世代 調理実習による講習会	平成29年2月3日(金)	参加者 21名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)

### 推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	健康のつどいででの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置 ・試食を通して減塩の呼びかけを実施(献立) ①豚肉の甘酢あんかけ ②水無月	11月18日(金) 1回	100名 参加者全員減塩の味に満足でした。	食生活改善推進連絡協議会(秋保) 秋保総合支所

### 推進の柱③ 地産地消をすすめよう

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消おとなの料理と食育講座(吉成市民センター共同事業)	大人	・地元ベテラン農家から学ぶ郷土料理 地元食材で作るおいしいたべもの, 交流を目的とした会, 皆で楽しく食べられる料理 食育についてのお話 (宮城食生活改善推進員会)		15名	宮城生活協同組合連合会(みやぎ生協)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します						
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	○2016年4月27日～2017年3月31日までに、6回の講座を実施。	○6回の講座の合計参加者数：127名 ○20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾【①-D-1再掲】	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	○2016年4月27日～2017年2月18日までに、7回の講座を実施。	○7回の講座の合計参加者数：134名 ○20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾【①-D-1再掲】	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	○2016年4月27日～2017年2月18日までに、7回の講座を実施。	○7回の講座の合計参加者数：134名 ○20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
2	4Rエコクッキング	一般市民	食材を余さず利用したり、地元産や季節の食材を活かしたり、洗剤を使わずに食器を洗ったり、エコな調理法を体験しながら食も学びます。	○2016年9月28日に実施。	○仙台市内の町内会からの依頼で対応。参加者は17名。年齢は50代以上。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 【①-D-1再掲】	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	〇2016年4月27日～2017年2月18日までに、7回の講座を実施。	〇7回の講座の合計参加者数：134名 〇20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会づくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 【①-D-1再掲】	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	〇2016年4月27日～2017年2月18日までに、7回の講座を実施。	〇7回の講座の合計参加者数：134名 〇20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）
2	オーガニック・ウィーク・センダイ2016 【追加】	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者	2016年10月26日～11月6日の期間中に、共通のロゴやのぼり旗を使って、宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBでイベントを集約し、Facebookなどで広報。団体や個人の協力により、有機野菜の販売イベントやセミナーなどが実施された。	2016年10月26日～11月6日の期間周辺	17イベント。参加者：約800名。 ※把握しているイベント、及び参加者数のみ	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 【①-D-1再掲】	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を連続で開催。各分野のプロフェッショナルを講師として、宮城の食や農漁業等の現状を学びつつ、参加者同士、参加者と講師のネットワークづくりもねらっている。	〇2016年4月27日～2017年2月18日までに、7回の講座を実施。	〇7回の講座の合計参加者数：134名 〇20代～50代程度の男女が参加。比率は女性のほうが多い。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

2	オーガニック・ウィーク・センダイ2016 【③-B-1再掲】	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者	2016年10月26日～11月6日の期間中に、共通のロゴやのぼり旗を使って、宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBでイベントを集約し、Facebookなどで広報。団体や個人の協力により、有機野菜の販売イベントやセミナーなどが実施された。	2016年10月26日～11月6日の期間周辺	17イベント。参加者：約800名。 ※把握しているイベント、及び参加者数のみ	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
3	海の幸は大丈夫？～汚染状況と安全を考える～ 【追加】	一般市民	水産資源生態学を研究している講師を招き、放射性物質による海の幸への被害状況から、消費者がどのような基準で食品を選択すればよいのかなどを解説していただいた。交流の時間を長めに持ったことで、講師からの話を聞くだけでなく、参加者同士・講師対参加者での交流ができた。	2016年6月14日に実施	参加者：21名 ※幅広い年齢、性別の参加者。子連れのお母さんも参加。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

## 推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

## 取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

## 具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	・店舗で「しっかり朝食フェア」を実施し朝食をとる大切さをお知らせする。	4/7元気な一日は朝食から！「しっかり朝食」和朝食、洋朝食を提案 8/18「新学期準備セール My朝食&お弁当 朝食をしっかり食べよう！」和朝食、洋朝食、弁当を提案 1/7元気な一日は朝食から「しっかり朝食」和洋食、洋朝食を提案しました。	店舗で、朝食をとる大切さをお知らせしました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

## 具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより, 市民の食育活動への参加を促します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	通年	応募 22件	宮城県生活協同組合連合会（あいこーぷみやぎ）

## 具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり, 自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育推進委員会の設置・実施による東北地区の食育推進活動	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生さんが集まり、大学生協の食育推進をどうするかを検討。 ・ごくごく牛乳ディスプレイコンテストについて、キャベツ産地体験POP作成（総括）、弁当の日	1回 3月22日（月） 2回 7月2日（土） 3回 12月9日（金）	1回 3月22日（月）13名参加 職員2名 2回 7月2日（土）19名参加 職員3名 3回 12月9日（金）3名参加 職員1名	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールカードによる食事を摂る取り組みの推進	大学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する</li> <li>・ミールカードの取組みについての学習会の実施</li> </ul>	9月23日 2017年度ミール方針議論 9月27日～ 各単協ミール方針交流、東北大実践報告	2016年ミールカード申込数10,151名（昨年比+989名）	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます、ごはんを中心とした「日本型食生活」のススメの新しいツールを作成します。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」の紙芝居を改訂します。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	「みやぎ生協の食生活提案と日本型食生活について」のツールは5月に完成し、第2回食のかたりべ養成講座で学習しました。	初夏のつどい（開催数414回）では、参加したメンバー10433人全員に配布しお知らせしました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に興味のあるメンバーが登録</li> <li>・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う</li> </ul>	年間10回（8回終了）	食育に興味のあるメンバーが24人登録し、みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら「たべる・たいせつ日本型食生活料理教室」や「5ADAY食育体験ツアー」の運営を行いました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

## 取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

## 具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施。	お魚がきっと好きになる料理教室3回・大人のお魚教室2回	「お魚がきっと好きになる料理教室」は4回開催参加者親子40組88人、大人のお魚教室は2回で35人参加。親子を対象に、産消直結めぐみ野品やコープ商品の学習や調理実習を行う、食に関する親子講座を15講座開催し476人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど商品」を活用した料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	年10回	10回 のべ163人	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

## 具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5A DAY食育体験ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5月～12月に仙台市内の小学校15校、生協の店舗で41回開催	1241人の児童が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

## 推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	①6月20日～7月10日 初夏のこ～ぷのつどいでのお知らせ ②実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施する。	「みやぎ生協の食生活提案と日本型食生活について」のツールは5月に完成し、第2回食のかたりべ養成講座で学習しました。	初夏のつどい（開催数414回）では、参加したメンバー10433人全員に配布しお知らせしました。実践として、「たべるたいせつ日本型食生活料理教室」は県内6ヶ所で「発酵食品、豆・豆製品」をテーマに開催しました。参加者108人（仙台1回 20人）食のかたりべ養成講座の学習には100人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

## 推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施予定時期・回数等		担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・毎月第一土曜日の「地産地消の日」に、「お米の日」として米生産者による試食推奨活動、商品のPRを行う。毎月15日に「めぐみ野」（産直品）の普及活動の日を設定し普及活動に取り組んでいます。	第1土曜日に「めぐみ野」米の普及活動、毎月15日にめぐみ野品（地場商品）の普及活動を実施。	普及の活動、は188回914人が参加しています。秋祭りは58エリアで開催され、1,368人が関わりました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

2	食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	4月～10月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加。	食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う。4月～10月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加して、メンバーのつどい会場などで244回かたりべ活動を行いました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	今までに作成したツールを継続活用する	野菜の花から野菜の名前をあてたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールやみやぎ生協の「食生活提案」のチラシを、たべるたいせつ料理教室やつどい会場で活用しました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施予定時期・回数等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	産地見学会 2016年度末までに80回開催。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農薬について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。	講演会2回 学習会10回	宮城県生活協同組合連合会(あいコープみやぎ)

宮城県生活協同組合連合会

3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	7月～9月	11回のべ357人	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	産地体験会 キャベツ産地視察 岩手県 一方井	大学生	・キャベツの収穫体験とキャベツを使用した調理実習の実施。	10月1日（土）～2日（日） 1回実施	学生21名、生協職員4名、合計25名参加 学習会は自分の食生活を振り返る学習と農家の声についての学習を行い、キャベツ生産者から説明を受けた。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施予定時期・回数等	担当主体・局	
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	・メンバーが家庭で稲を育てる。パケツ稲栽培コンテストを実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 ・産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施	パケツ稲の配布 5月29日。パケツ稲栽培コンテスト10月16日開催。	21店舗でパケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取組みに689家族が参加。めぐみ野たんぼの学校、田植え体験40人、田んぼの生き物調査49人、稲刈り体験は43人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	農業体験の実施	組合員の親子	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） ・年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画）	田んぼに行こう～年4回 畑に行こう～年7回	田んぼ4回 のべ233人 畑 7回 のべ168人	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施予定時期・回数等	担当主体・局	
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用した商品開発を継続して行う ・「食のみやぎ復興ネットワーク」を結成し、宮城県内の農業・漁業関係者や食品関連産業が、互いに励ましあい、県内素材を使った地元加工品の商品開発を行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に「食のみやぎ復興ネットワーク」の活動から生まれた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	「古今東北（ここんとうほく）」ブランド商品は12月現在で100商品となる。		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	「あいぶらんど通信」の取材と発行	組合員	組合員や職員が産地、食品工場を訪問し、現場を体験取材して「あいぶらんど通信」を発行する。	年4回	①「産地・工場見学」取材 3回発行 ②「あいごはん企画での生産者交流」取材 8回発行	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供			日本チェーンストア協会東北支部

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者, スーパーマーケット, 飲食店, ホテル, 旅館等との連携により, 食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1再掲》	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供	通年・随時更新		日本チェーンストア協会東北支部

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で, 様々な年代が, 体験を通して, 健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケット体験学習	小学生	・小学生を対象としたスーパーマーケット体験学習の実施	通年・随時更新		日本チェーンストア協会東北支部
2	出前食育授業	小学生	・公民館に出向いて食育授業を実施	11月2日	児童33名, 保護者33名	日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流, 体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり, 広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	・県産農産物, 加工品を活用した商品開発, 販売による地産地消の推進			日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン	小・中・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の食材（米・野菜等）の供給</li> <li>①ここで給食（曲りネギ、立ちネギ、雪菜、大豆）</li> <li>②まるっと仙台（1日のみ献立の中に仙台の旬の野菜を使用）</li> <li>③週1回（季節の野菜）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①11月～1月</li> <li>②11月</li> <li>③周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小学校34校、中学校6校で実施（12月：小学校10校、中学校10校、支援学校1校）（1月：小学校45校、中学校7校、高校2校、支援学校1校）</li> <li>②小学校9校、中学校1校で実施</li> <li>③小学校7校で実施</li> </ul>	農業協同組合

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 農作業体験（地区青年部が主体となって実施）</li> <li>① 田植え 七郷小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、中野栄小、蒲町小、桂小、馬場小、広瀬小、大山小、北仙台小</li> <li>② 稲刈り 七郷小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、中野栄小、蒲町小、馬場小、広瀬小</li> <li>③ ジャがいも収穫 杉の子保育園</li> <li>④ バケツ稲</li> <li>⑤ 野菜収穫</li> <li>⑥ 野菜作り講習会</li> <li>⑦ 曲りネギ講習（テレビ電話）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①田植え：5月</li> <li>②稲刈り：9～10月</li> <li>③ジャがいも収穫：6月</li> <li>④バケツ稲：5月～6月</li> <li>⑤野菜収穫</li> <li>⑥野菜講習会：4月～8月</li> <li>⑦曲りネギ講習：12月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①田植え②稲刈り：七郷小4年120名、富沢小5年193名、西多賀小5年196名、長町南小5年120名、新田小5年181名、中野栄小5年92名、蒲町小5年73名、桂小5年40名、馬場小4・5年15名、広瀬小5年40名、大沢小5年60名、北仙台小5年39名</li> <li>③ジャがいも収穫：30名</li> <li>④バケツ稲：29校63クラス</li> <li>⑤野菜収穫：岩切どろんこ保育園：40名（園児、先生）</li> <li>⑥野菜講習会：綱学院中2・3年51名、仙台市東部市民C：親子10組</li> <li>⑦曲りネギ講習：白方小（茨城県）3年生97名</li> </ul>	農業協同組合
2	J A仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生及び市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導</li> <li>1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用）</li> </ul>	10～11月 5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城野小3年：3回92名</li> <li>松森小5年：1回31名</li> <li>生出市民センター：1回10名（12月：八木山南小：1回、東仙台小：2回）</li> </ul>	農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	防災食育講座「非常時に役立つ常備菜クッキング」	女子大生	日本の食文化である発酵食品のひとつ、「みそ」は昔はそれぞれの家庭でみそがつくられ、その家庭なりの味わいのあるみそができていた。そして、そのつくり方や味は親から子へ、子から孫へと伝承されてきた。今では、その伝承が失われてしまい、企業による大量生産が行われ、私たちは簡単にスーパーにいけば手に入る。しかし自分で手がけたみそは、市販品と比較すると、やはりおいしさに違いがある。そこで、講座をとおしてみそづくりの方法を知ってもらい、家庭の備蓄食品に加えてもらった。また、平日頃の作り置きのおかずとなる常備菜を紹介し、その一部を実習させた。これをきっかけに、非常時のために平日頃家庭で常備菜を手づくりする参加者の意識を高めることができた。	7月9日(土)	女子大生38名	仙台白百合女子大学

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	みやぎ県民大学講座「体脂肪を減らそう」	一般市民	なぜ体に脂肪がたまってしまうのか。摂取したカロリー量が多すぎる、運動不足でカロリーの消費が少ないなど体脂肪が増える原因はさまざまである。肥満自体は病気ではないが、それが続くと糖尿病や心臓病を起こしやすい状態になるので、できるだけ避けたい。しかし、食べる量をコントロールしたり、運動を続けたりすることは意外に難しい。そこで体脂肪を減らすための方策について以下の講座を通して学んでもらった。 第1回 昼食のお弁当のカロリー計算をしてみよう 第2回 体の脂肪量を測ってみよう 第3回 体脂肪燃焼効果のある食材を使って食事を作ろう 第4回 体を動かしながら、消費カロリーを計算してみよう	9月17-18日	一般の方々31名	仙台白百合女子大学

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地元野菜を取り入れた弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生と(株)穂野かとの協働事業を展開。女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた弁当を考案し、穂野かが作製した春のお花見弁当販売。レシビを考える際には被災地復興支援と野菜不足解消の一助となるように地産地消を意識して旬の野菜を豊富に使用する。	H29年4月27日-5月2日	1日20食を店頭販売	仙台白百合女子大学

## 推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学生に向けた食育の推進	大学生 一般市民	食育の授業を通して、食に関する知識を提供し、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促した。	4~7月、2キャンパスで7回ずつ	①186名 ②150名	宮城大学
2	市民に向けた食育啓発活動	一般市民	食育に関する調査・研究の成果を活かし、一般市民に講演を行い、食育啓発活動を行う。①みやぎ生活協同組合学習会 ②仙台市山田市民センター 山田豊齢大学	①5月31日 ②9月8日	①100名 ②66名	①みやぎ生活協同組合 ②仙台ひと・まち交流財団 仙台市山田市民センター
3	教員に対する食の講習	幼稚園・保育園、小・中・高校の教員	食育に関する教員免許更新講習会を実施し、子どもに対して食の教育を実践していただくために役立つ知識や指導例等について、紹介・説明した。	10月15日	45名	宮城大学
4	栄養教諭研修	栄養教諭	栄養教諭の専門的・実践的な知識と技術をさらに高め、食の指導のリーダーとしての役割を果たすために必要な指導力と実践力の向上を図る目的で開催された研修会において、食に関わる問題と食育施策について解説し、実践的な食の指導事例を幅広く紹介・説明した。	1月11日	約50名	宮城県総合教育センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な活動につなげます

1	朝ごはんフェア【追加】	大学生任意団体@グリーン、(以前)仮設に住宅入居されていた市民が実施、対象は大学生	宮城大学のサークル@グリーンが、森本素子先生の指導のもと、被災者支援ボランティアの一環として始めた活動で、大学の農場で栽培した野菜や、寄付による食材を利用して、大学の加工棟で学生が被災者の方たちと一緒にスープやパンを作り、無料で朝ごはんを提供している。最近、後援会の支援も得られるようになった。	月1回	食事作り：~15名程度、利用者：多数	宮城大学
---	-------------	---	---	-----	--------------------	------

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	8月3日、11月22日の計2回実施	テーマ：「地球の食卓～写真で学ぶ世界の文化と生活～」 参加者数：9人 テーマ：「みんなで仕込んでみよう！伝統食材「仙台大みそ」」 参加者数：25人	市民局

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかな暮らし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年6回発行	発行時期：5、7、9、11、1、3月 発行部数：全61,000部を6回に分けて発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	8月3日、11月22日の計2回実施	テーマ：「地球の食卓～写真で学ぶ世界の文化と生活～」 参加者数：9人 テーマ：「みんなで仕込んでみよう！伝統食材「仙台大みそ」」 参加者数：25人	市民局

5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・幼児期から成人まで、発達段階に応じて消費生活の知識を楽しく学べる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援する目的でお金の使い方、地産地消などを学ぶ小学校高学年向けのウェブサイト「授業でござる」において情報提供を行う。	随時	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校に配布。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）	年1回（3月配布）	配布部数 ①10,500部 ②10,500部	
6	パンフレット「食品表示ガイド」の発行【追加】	一般市民・事業者	・平成27年4月1日施行された食品表示法に基づく食品表示法をわかりやすくまとめたパンフレットを発行した。	6月	発行部数 5,000部	市民局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	参加者数・状況等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	随時	随時更新	子供未来局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月～3月 公立 275回 私立 300回	公立 771名 私立 2,975名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
2	献立表、給食だよりの働きかけ	保育所入所児家庭	・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年 毎月給食便りを発行 リーフレット配付 3月	公立 3,237家庭 私立 9977家庭	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動(拡充)	保育所入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で実施する親子調理活動の事例集を作成し、活動内容の充実を図る。 ・親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	4月～3月 公立 65回 私立 48回	参加者 公立 1,596名 私立 1,532名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。</li> <li>懇談会や給食試食会を実施する。</li> </ul>	活動報告 公立 898回 私立 1,865回 懇談会等 公立 701回 私立 1103回	参加者 公立 10,635名 私立 20,522名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
2	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)</li> </ul>	9月27日 1回	141名参加	子供未来局 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。</li> <li>栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する</li> </ul>	10月18日 1回 通年	148名	保育所 保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習や講義の研修を通して、食育や安全な食事の提供についての理解を深める。</li> </ul>	調理実習4回 8・9月 講話 1回 9月	調理実習 72名 講話 77名	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	業務研修	保育士	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。</li> </ul>	4月～3月 56回	450名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
4	食物アレルギー研修会	学校職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。</li> <li>「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する</li> </ul>			小・中学校 教育局
		保育所職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する</li> </ul>	4月～3月 13回	13か所 194名 運営支援課保健師による研修	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	各区・支所にて毎月1～2回開催予定	・母子健康手帳交付説明会 ：毎月1～2回開催 ・母親教室、両親教室等 ：134回開催	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	年間235回開催予定	開催回数：237回 対象者：9,026名	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	年間66回開催予定	開催回数：66回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白）	1歳6か月児健診 211回予定 2歳6か月児歯科健診 213回予定 3歳児健診 218回予定	実施回数 ・1歳6か月児：211回 ・2歳6か月児：213回 ・3歳児：218回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て 家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う	随時 4～3月 公立	335件	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て 家庭保護者	・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える	随時 4月～3月 公立 2回	42名	保育所 子供未来局

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「仙台市保育所における食育の手引き」をもとに、各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」の見直しを行い、保育の中での食育を推進する。</li> <li>・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける</li> <li>・各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。</li> </ul>	通年 食育活動 4～3月 公立 1,400回 私立 3,400回  朝食についての働きかけ 4～3月 公立149回 私立592回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間食育計画」並びに「食育活動計画」は全施設で作成、実施。</li> <li>・食育活動参加者 公立 37,091名 私立 90,702名</li> <li>・朝食についての働きかけ 公立 11,564名 私立 34,382名</li> </ul>	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑作りの年間計画をたてる</li> <li>・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。</li> <li>・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。</li> </ul>	通年 4月～3月 収穫した回数 公立 1,460回 私立 4,748回 収穫物をメニューに取り入れた回数 公立 1,255回 私立 1,914回	畑づくり計画立 公立 38か所 私立 110か所  収穫物をメニューに取り入れた人数 公立 68,812名 私立 91,045名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業「のびすく仙台」「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催</li> </ul>	年2回開催予定	7月10日 6組19名	子供未来局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4～3月 ・給食に取入れた回数 公立 574回 私立 2,201回	食した人数 公立 45,317名 私立 178,868名 保護者への啓発 公立 388回 私立 1,361回	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	通年 メニューに取入れる 28,756回 保護者への活動報告 80回 地産地消調査 6月, 11月実施	地元生産者から直接購入 公立 5か所 私立 27か所 宮城県産利用割合 6月 26% 11月 24%	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	6月～3月	・子供未来局 保育所給食食材サンプル検査 HP掲載 379件 保育所給食1食全体検査 HP掲載 252件	子供未来局 教育局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食連携事業	児童生徒	経済局と教育局が連携し、特徴のある仙台産農産物を給食に取り入れ、児童生徒に旬の地場食材を実感させるとともに、農産物の認知度向上と消費拡大を図る。今年度は新たに、米・野菜・果物全部を仙台産で賄う「まるっと仙台産農産物の日」を協力校数校で実施する。	11月～ 190校で実施	H28.11.14～18実施 「まるっと仙台産農産物の日」(全10校)	経済局 教育局

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク(愛称:ここでちゃん)の普及	一般市民	各種イベントでせんだい産農産物表示マーク(愛称:ここでちゃん)の普及。HPでの啓発。生産者や販売者、飲食店へのマークの普及	随時	農政だより(11月秋号)、収穫まつり(11/12・13)等でPR	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・地産地消推進サポーター募集登録、パンフレット等の配布	随時	登録サポーター数 消費者253名 生産者84名 販売店79名 飲食店65名	経済局
3	NHKテレビひるはび「旬の金曜日～市場中継～」	一般市民	・宮城県産を中心とした旬の食材と、その美味しい食べ方等を紹介する	放送回数 31回		経済局
4	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について、せり等を見学しながら理解を深めてもらう。 ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会	実施時期(回数) ①随時 ②8月(2回)	①31団体 499名 ②30組 85名	経済局中央卸売市場 ①管理課 仙台おさかな普及協会、仙台やさしい・くだもの普及委員会 ②業務課

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ②農業園芸センター	①4～11月（10回開催） ②随時	①延56店舗出店 4/6(7店舗)・20(7), 5/18(6), 6/1(4)・ 15(6), 7/6(2)・20(6), 8/3(3), 10/19(6), 11/16(9) ②随時	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・仙台市内の生産現場や、地産地消に取り組む販売店や飲食店の見学を行う。	5/17 播種体験1 8/2 現場見学会1 8/9 収穫体験1 9/3 播種体験2 10/26 現場見学会2 11/5 収穫体験2	消費者20名参加 消費者22名参加 消費者20名参加 消費者21名参加 消費者19名参加 消費者21名参加	経済局
3	地産地消講演会	一般市民	・地産地消を推進し、仙台産農産物の消費拡大を図るためのイベント。地産地消まつりと同時開催	11/12 収穫まつりと同時開催	80名参加 農業園芸センター ホテルメトロポリタン仙台 渡邊シェフ講演	経済局
4	収穫まつり開催	一般市民	・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11/12・13	11/12・13開催 入場者数 約9,700人	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園，学童農園設置促進事業	一般市民，児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい，体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応)	・学童農園84農園70校（中学校2、小学校43、幼稚園16、保育園9園）	・学童農園80農園65校（中学校1、小学校42、幼稚園14、保育園8）	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・直売やイベントを通して市内産の農産物を販売することやHPでの活動紹介で地産地消を推進する。	随時	随時	経済局
2	エコファーマーフェア	一般市民	・仙台市内のエコファーマーが栽培した農産物の販売	28.11.8.~9 1回 延12店舗 出店予定	H28.11.8~9開催 延12店舗出店	経済局
3	米オーナー事業	一般市民	・市民が米のオーナーとなり、農家の指導を受けながら米の栽培を行い、収穫した米を受け取る。 田植え、生育見学、稲刈り	①田植え(3農家) 5/8、 5/15、5/22 ②生育見学会(3農家) 8/6、 8/11 ③稲刈り(3農家) 9/17、 9/19、9/24	〈体験あり〉(参加申込14組46名) ①延40名参加 ②延22名参加 ③延36名参加  〈体験なし〉(申込2名)	経済局 仙台市認定農業者 連絡会
4	保育所等サンマ教室への協力	保育所等入所児童	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、サンマの炭火焼を体験させ、子供達の魚食への興味と関心を深めてもらう ②おさかな普及協会が、中学校に出向いて、サンマのつみれ汁教室を開催し、中学生に調理を体験させ、魚食への興味と関心を深めてもらう	①10月~11月 ②16回	①保育所等 522名 ②中学校 697名  提供サンマ数 1539尾	経済局 (事業主体：仙 台おさかな普及協 会)
5	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。 ①南高梅 ②③青森りんご	①6月10日  ②10月21日  ③11月21日	①小学生 約70名  ②小学生 約90名 保護者 約20名 ③小学生 約30名 保護者 約10名	経済局中央卸売市場 ①愛梅隊 JA紀州 仙台中央青果卸 (株) ②③東北地区青森 りんごの会 (株)宮果 仙台中央青果卸 (株)

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20(野菜 0, 林産物20)	H28年分終了 検体数20(林産物)	健康福祉局 経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	平成29年1月23～27日まで実施予定。資料展示は1階ギャラリーホール。	市役所食堂での給食メニューについては、毎日60食を提供。資料展示では、保護者、学校関係者を含む多くの方々が来場。	健康教育課 教育局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的施策の取組	小・中学生	・「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいる。 ・「仙台市健やかな体の育成プラン」の計画期間が平成28年度で終了することから、現行プランで掲げた「目指すべき10年後の児童生徒の姿」を踏襲しながら、平成29年度以降の5年間で取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン2017」の策定に向けた検討を行っている。	平成24年度～28年度、健康教育推進校として、小・中学校6校を指定。 健康教育研修会8月3・4日実施 「仙台市健やかな体の育成プラン検討委員会」4回開催	各校での取組実施及び連絡会での情報交換2回  「せんだいっ子健康セミナー」講演1部門「おなかの中から元気になろう」121名参加	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5～7月実施	小・中・高校生を対象に調査を実施。報告書にまとめ、各校へ配布予定。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者, 市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月27日実施	141名参加	子供未来局 教育局
2	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者, 市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高めた。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会 8月3・4日 (再掲)	「せんだいっ子健康セミナー」 講演1部門「おなかの中から元気になろう」 121名参加	教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施した。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月17日実施  通年	194名参加	小・中学校 教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する			保育所 子供未来局
2	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高めた。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会 8月3・4日実施 (再掲)	「せんだいっ子健康セミナー」 講演1部門「おなかの中から元気になろう」 121名参加	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	平成28年6月～平成29年1月 45校でのべ75回実施	参加者数 2,675名	教育局

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さについて学ぶ機会を提供した。	7月22日実施	12組(24名)参加。 「親子で作る夏野菜を使ったお昼ごはん」をテーマに実施	教育局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	随時	各学校において随時実施	小・中学校教育局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行った。	6月	単独調理校、給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施【地場産物活用率29.5%】	教育局
2	学校給食連携事業	児童生徒	経済局と教育局が連携し、特徴のある仙台産農産物を給食に取り入れ、児童生徒に旬の地場食材を実感させるとともに、農産物の認知度向上と消費拡大を図る。1日の給食の農産物をほぼ仙台市産とする「まるっと仙台産農産物の日」を10校で新たに実施し、市内産野菜の啓発を図った。	11~1月 (まるっと仙台産農産物は11月に実施)	5種の野菜約1,660kg, 大豆約800kg, まるっと仙台産約700kg	経済局教育局

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校，仙台市教育局のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時	ホームページで随時紹介	教育局

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに，正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し，ホームページ等で広く市民に情報発信する	随時	使用する食品の検査結果，給食一食検査結果を随時発信	子供未来局 教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介，食育推進隊などの活動紹介，関係機関等へのリンクなど，情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用，おすすめレシピ紹介，関係機関等へのリンクなど	随時更新	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド，健康づくりサポート店（食で健康サポート店），生活習慣病予防の食生活等のパネル展示，レシピや資料配布	通年	各区・支所ごとに設置	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより，区ホームページ，庁内放送，パネル展，レシピの配布等による普及啓発 ・食育月間に，児童館・児童センター，大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示。（泉区） ・6月実施の健康教育等にて食育について啓発グッズ配布（宮総）	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 食育の日 毎月19日	パネル展，イベント等の実施。レシピや啓発媒体の配布 ・児童館・センター25館，のびすく，大学4校，専門学校4校にポスター配布(泉) ・啓発グッズ22部配布(宮総)	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・子育て世代が集まるイベント等で，「塩eco」「生活習慣病予防」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信。	11月13日 PTAフェスティバル	塩エコクイズ241名参加 糖尿病クイズ80名参加 血压測定 64名	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	①「いすみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 お米に関する知識，手軽な料理，手作りおやつを紹介など	2016/10/26 会場：七北田体育館	延べ参加者数 大人：213名 子供：259名 計472名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集，登録。また，活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	10団体・個人が登録	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供，助言 ・推進員育成の支援	5/30宮城食生活改善推進員会定期総会・食育研修会を実施  新メンバーを対象とした研修(泉)	5/30定期総会・研修会 参加者：24名 9/7食育研修会 参加者19名(宮総) 6月学習会(減塩)5名(秋保) 9月健康のつどい試食試作会7名(秋保) 11月健康のつどい試食(90名) 研修 4名参加(泉) リーダー研修会 2/9 19名	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
3	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	・地域で活動する食育サポーターを養成する ・今年度は，既存のグループ(もぐもぐ，La ta ta ♪(ラッタッタ)，郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。	6～7月(2回)	参加者数 実6人 延べ13人 もぐもぐ2人，ラッタッタ2人，郷土料理伝え隊2人加入	宮城野区保健福祉センター
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供，紹介等	①10月(1回) ②1回	①参加者数 16人 ②ラッタッタ 原町児童館	宮城野区保健福祉センター
5	「いずみ食育の輪」の支援	登録団体・個人	①「いずみ食育の輪」(食育活動を行うボランティア団体等)の活動をホームページや食育月間パネル展等で紹介する ②「いずみ食育の輪」の団体の主体的な活動への支援 ③「子育て応援倶楽部いずみん」での活動支援	①ホームページ随時更新 ②活動随時 ③いずみんおやこフェスでの展示物作成支援	活動回数 4回	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業	大学生	(大学生の食育プロジェクト) ・市内の管理栄養士養成課程に在籍する学生による、食育推進プロジェクト。今年度は、「塩エコ」をテーマに、リーフレット(「男子編」「女子編」「子育て世代編」)を作成し、若い世代、子育て世代へ向け啓発を行った。	・企画会議 月1回程度開催 ・各大学の大学祭、PTAフェスティバルで啓発 ・成人式啓発 1月8日	プロジェクトメンバー10名 ・企画会議参加 のべ70名 ・PTAフェスティバル：子育て世代向けリーフレット388部配布、塩エコクイズ241名参加 ・成人式での塩エコリーフレット配布150部	健康福祉局
3	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレター(NL)とホームページによる健康づくりの普及啓発 ・協働による事業実施(11校と企画)	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL 配布：31校 健康教育6回 5校349名	青葉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長・体重・肥満度・問診項目、個別相談の結果などを各区・支所で集計	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	離乳食教室でのアンケート実施 年6回(奇数月)	離乳食教室アンケート実施(88名)データ集積中	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育(出前健康教育、出前講座、宅配講座)	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等 ・児童館での食育講話 ・幼稚園でのおやつと歯についての講話	随時	(集団) 実施回数：43回 参加人数：397人 (個別相談) 人数：66人	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	21組42名	青葉区保健福祉センター

仙台市健康福祉局

3	子育て世代の所為区育講座	乳幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動講座</li> <li>・食育・行事食・幼児食についての啓発と調理実習等</li> </ul>	1回	2組4人	秋保総合支所
4	食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」	若い世代 子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う</li> <li>・レシピ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等）</li> <li>・モーベジ！カレンダーの作成、活用（管内協力幼稚園へカレンダーと賞状の提供）</li> <li>・モーベジ！カレンダーの活用状況の把握、還元（モーベジ！カレンダーへのアンケート調査と集約、モーベジ！通信αの配布）</li> <li>・幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施</li> <li>・小学生を対象とした体験型食育講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モーベジ！カレンダー、情報誌配布</li> <li>・幼稚園食育講座1回・児童館食育講座1回・市民センター食育講座1回・小学校食育講座12月2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダー太白区内幼稚園16施設2,980名配布、情報誌3,100部配布（保護者及び推進施設）</li> <li>・八木山カトリック幼稚園家庭学級13名・上野山児童館親子7組14名・八木山市民センター5名・芦口小延91名</li> </ul>	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が集まるイベント等で、「塩eco」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信。</li> </ul>	11月8日 PTAフェスティバル	塩エコイズ 125名参加	健康福祉局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	保育所・せんだい保育室・小規模保育施設・認定こども園の食育担当者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演、情報交換等</li> </ul>	青葉区・宮総共催 で年1回実施	12/6 35名参加（うち宮総管内8名）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	学校と保健福祉センターが、児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みについて情報交換し、どのような連携が必要なのか等を話し合う。	年2回実施予定	第1回（7月実施）：21名参加 第2回（2月実施）：13名参加	若林区保健福祉センター
3	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演（食育、歯と口の健康）</li> <li>子どもの食と歯の健康づくり研修会 H29.2.24実施</li> </ul>	1回実施	12施設14名	太白区保健福祉センター
4	若林区食育情報交換会【新規】	区内で子どもの食育に関わる機関・関係者等	食育に関する講演・情報交換	年1回（10月）	20施設21名	若林区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	毎月(12回)	8回 73件	宮城野区保健福祉センター
2	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生(乳児の保護者)	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	91名	青葉区保健福祉センター
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発(太白)	通年	実施回数：66回 参加者数：1597組	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
4	歯ッピー教室(1歳児歯科保健教室)における啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発(集団指導)と個別相談	年6回(奇数月)開催 (定員20組×6回)	回数：6回 参加者数：75組 個別相談：22件	宮城総合支所
5	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	12回	参加数：263組 個別相談：45件	泉区保健福祉センター
6	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援	12回(高砂保健センター6回、岩切保健センター6回)	高砂 92件 岩切 63件	宮城野区保健福祉センター
				所内、六郷保健センター、七郷保健センターにて各12回	所内：144件 六郷：70件 七郷：100件	若林区保健福祉センター
				茂庭台(栄養相談は年3回) 所内(新規、H28は2回)	茂庭台：9件 所内：個別12件、 ミニ講話62組	太白区保健福祉センター
				所内で偶数月開催6回	栄養相談 114名	泉区保健福祉センター
7	育児相談(幼児健診事後)	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	2回	9月 10組 12月 10組	泉区保健福祉センター
8	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	妊産婦：1名 乳幼児：806名 その他：6名	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
9	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年	妊産婦：40名 乳幼児：457名	各区保健福祉センター 総合支所

仙台市健康福祉局

10	育児相談会	1歳までの乳幼児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベビーヨガ, 赤ちゃんの抱っこ講座</li> <li>育児相談</li> <li>育児の情報提供</li> </ul>	5回	実施回数：5回 参加者(延べ)：乳幼児110名, 保護者83名 (栄養相談：13件)	青葉区保健福祉センター
11	ママパパくらぶでの啓発【新規】	妊婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠中, 出産後の身体を考えた食生活についての講話, 資料配布</li> </ul>	年8回	母親教室1コース3回のうち, 1回目と2回目で講話を実施 1回目：4回 38人 2回目：4回 39人	宮城総合支所
12	あかちゃんくらぶでの啓発	乳児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話</li> </ul>	年2回	7/28 28組参加 1/26 25組参加	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センターなどと連携した健康教育【追加】	乳幼児・児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防を目的とした健康教育</li> </ul>	7月29日	実施回数 1回 参加者 7組15名 (柏木市民センター)	青葉区保健福祉センター
2	若い年齢層への健康教育	子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食, 食育, 生活習慣病などをテーマとした健康教育</li> </ul>	11月1回	大野田小学校 133名	太白区保健福祉センター
3	地域と共に育む子どもの健康づくり事業	学童	児童クラブ向けに, 食べ物に関する紙芝居や講話, 食べ物のグループ分けを実施	夏休み, 秋休み, 冬休み期間	実施回数 9回 参加者 386名	太白区保健福祉センター
4	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>長命ヶ丘保育所地域子育て支援センター, 長命ヶ丘児童センター, 長命ヶ丘市民センターとの連携による離乳食講座(調理実習)</li> </ul>	11月10日	参加数 14組	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関，関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	保育所・せんだい保育室・小規模保育施設・認定こども園の食育担当者等	・講演，情報交換等	12月8日	12/6 35名参加（うち宮城管内8名）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所，幼稚園，児童館，市民センター，育児サークル，託児ボランティアグループ，社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う。	年2回 1回目（5/31）に健診での栄養相談状況についての情報提供	2回目：2/23 29機関36名参加	宮城総合支所
3	食育担当者情報交換会《①-B-7 再掲》	保育所，幼稚園，学校の職員	・講演（食育，歯と口の健康） 子どもの食と歯の健康づくり研修会 H29.2.24実施	1回実施	12施設14名	太白区保健福祉センター
4	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士，支所栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し，地域全体の食育の推進を図る。 ・健康のつどいにて各校・保育所の食育紹介	8月 1回 11月 1回	5人 4人（展示用パネル制作） 健康のつどい食育紹介（4校・1保育所）	秋保総合支所
5	地域子育て交流会	いずみ食育の輪，育児サークル，育児サロン，のびすく泉中央，泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 お米に関する知識，手軽な料理，手作りおやつを紹介など《①-A-2再掲》	2016/10/26 会場：七北田体育館	延べ参加者数 大人：213名 子供：259名 計472名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業【①-A-5再掲】	専門学校の学生	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター）の発信 ・健康教育、掲示教育用のCDRを各学校に提供し、活用につなげる。（H26年度作成）	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL 配布：31校 健康教育6回 5校349名	青葉区保健福祉センター
2	地域健康教育（出前健康教育，出前講座，宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	随時	（集団） 実施回数：0	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育（宅配講座）	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	実施なし	若林区保健福祉センター
4	食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」《①-B-2 再掲》	若い世代 子育て世代	・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・レシビ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等） ・モーベジ！カレンダーの作成，活用（管内協力幼稚園へカレンダーと賞状の提供） ・モーベジ！カレンダーの活用状況の把握，還元（モーベジ！カレンダーへのアンケート調査と集約，モーベジ！通信αの配布） ・幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施 ・小学生及び保護者を対象とした体験型食育講座の実施	・モーベジ！カレンダー，情報誌配布・幼稚園食育講座1回・児童館食育講座1回・市民センター食育講座1回・小学校食育講座12月2回	・カレンダー太白区内幼稚園16施設2,980名配布，情報誌3,100部配布（保護者及び推進施設）・八木山カトリック幼稚園家庭学級13名・上野山児童館親子7組14名・八木山市民センター5名・芦口小延91名	太白区保健福祉センター
5	大学生を対象とした食育	大学生等	①食育月間に合わせ，朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学生協まつりで食育のブースを設置し，食育体験，栄養相談，情報提供を実施。（大学生協協同組合との協働） ③大学との連携により，大学祭において食育ブースを設置，朝食摂取の大切さについて啓発（学生による学内アンケート調査と結果の周知，メニュー提案，デモンストレーション，試食提供 等）	①6月 ②10月25日 ③10月22，23日	①大学・短大4校，専門学校4校 ②大学1校 48名参加 ③大学1校 132名参加	泉区保健福祉センター
6	大学祭，学園祭等を活用した健康づくり啓発事業【追加】	大学生及び高校生等	大学，高校と連携し，大学祭や学園祭等の機会を活用し，食生活を含めた健康づくりに関する啓発を実施	9月 3回 10月 1回	実施回数 4回 啓発資料配布 568部	太白区保健福祉センター
7	地域健康教育②【追加】 【①-B-2再掲】	小・中・高・大学生等	児童・生徒・学生等に向けた健康づくりの食生活をテーマとした健康教育を実施 ①東北工業大学知的エレクトロニクス学科1年生を対象とした講話 ②芦口小6年生を対象としたモーベジ！講座の実施	①5月1日 ②12月2日，7日	①1回 88名 ②2回 82名	太白区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き世代への健康教育【追加】 《①-B-9再掲》	乳幼児・児童と保護者	・生活習慣病予防を目的とした健康教育	7月29日	参加数 7組15名 (柏木市民センター)	青葉区保健福祉センター
2	事業所での健康教育		・事業所で働く方を対象とした生活習慣病予防のための健康教育の開催	実施予定なし	実施なし	宮城総合支所
3	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供（栄養関係） 4回 5月・8月・11月・12月	①延べ 21事業所 ②延べ 273店舗	宮城野区保健福祉センター
4	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	随時	6回212名	若林区保健福祉センター
5	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・H23～25に健康教育を行った事業所へ出前講座の案内を送付し、出前講座の申込を募る	10月1回	東北工業大学(職員)36名	太白区保健福祉センター
6	働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	・消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供と啓発ティッシュ配布 ・事業所健康教育時に情報提供と啓発ティッシュ配布	2回	啓発人数 115人	秋保総合支所
7	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	・地域のスーパーマーケットとの連携による、体験型生活習慣病予防イベント	9月16日	イベント参加者延べ1,100名 うち栄養コーナー延べ116	泉区保健福祉センター
8	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携により、健康教育の実施	随時	実施なし	泉区保健福祉センター
9	児童館などと連携した健康教育	乳幼児、小学生の保護者	・減塩やメタボリックシンドロームについてのポスターを児童館・児童センターに配布し、館内に掲示。	実施なし	実施なし	泉区保健福祉センター
10	食生活改善普及運動とあわせた健康情報の提供【追加】	タクシー事業者 理美容関係者 飲食店等	従業員と顧客向けの食と健康情報の提供（野菜摂取・減塩啓発ティッシュ等）	9月	22件	秋保総合支所

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 (出前健康教育, 出前講座, 宅配講座)	一般市民	・町内会, 老人クラブ, 地区社会福祉協議会のサロン等での, 低栄養予防, 骨粗しょう症予防, 生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	(集団) 実施回数: 14回 参加人数: 474人 (個別) 3件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会【新規】	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し, 状況に合わせ, 食生活についてのアドバイスをを行う。	9月1日	参加者数: 45名 (参加者全員に対し, 個別で簡単な食生活アドバイスを実施)	宮城総合支所
3	介護予防サポータースキルアップ研修	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポーターが地域で継続的に活動できるよう, 健康的な食生活について啓発する。 ・サポーターを通じた地域の高齢者への啓発をはかる。	10月21日, 31日	低栄養予防についての講話 参加延べ人数 110名	泉区保健福祉センター
4	介護予防サポータースキルアップ研修会【追加】	介護予防サポーター	高齢者の低栄養予防についての講話	9月	実施回数 4回 参加者 延べ152人	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者(積極的支援)	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月~	94人	健康福祉局
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	11月~	25件	各区保健福祉センター 総合支所
3	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	12回	講話回数:6回 参加人数:62名 個別相談26件	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年1回実施 相談は随時受付	健康相談会の実施 9/1 1回 3件 骨粗鬆症検診事後指導 2件	宮城総合支所
5	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	13回	延べ15人	宮城野区保健福祉センター
6	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話, 演習	12月(1回)	5人	宮城野区保健福祉センター
7	健康づくり講座, 相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講話8回, 相談 11回予定	講話8回 111名 健康相談 6件	若林区保健福祉センター

仙台市健康福祉局

8	ヘルスアップセミナー	健診の結果、 血糖・脂質・ 血圧が要指導 等の者	生活習慣病予防のためのセミナー（医師講話・栄養講話・運動等）	2回コース (6/8, 6/23)	実11名, 延22名	若林区保健福祉 センター
9	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導 者	・糖尿病発症予防のための教室	3回	延べ参加人数：50名	青葉区保健福祉 センター
10	糖尿病予防啓発	一般市民	世界糖尿病デー啓発	11月 パネル展	パネル展 1回 資料配布数 756枚	宮城野区保健福 祉センター
11	糖尿病予防講座 (健康づくり講座)	HbA1c要指導 者 血圧またはLDL 要指導者	・生活習慣病発症予防のための講座（健康づくり講座） HbA1c,血圧またはLDLが高めの方を対象として医師講話, 食事, 運動の3回コースで実施予定	5月 1回 1・2月 4回実施	前年度フォローアップ講座 15名 今年度本講座4回延90名	太白区保健福祉 センター
12	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	通年	36名	太白区保健福祉 センター
13	健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回 開設 ミニ講話 12 月, 1月実施	個別相談：延べ 26件 ミニ講話：2回 延べ28名	泉区保健福祉セ ンター
14	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問, 電話, 来所による栄養相談	通年	訪問相談：15件 電話・来所での相談：261 件	各区保健福祉セ ンター 総合支所
15	被災者の食生活支援	仮設住宅等入 居者	①復興公営住宅入居者対象の健康相談や支え合いセンター主催のサロンでの栄養講話 ②訪問・電話・来所による栄養相談	講話・相談会2回	実施回数：3回 参加人数：延べ76人	各区保健福祉セ ンター 総合支所
				①通年 ②随時	①12回 参加者延べ131人 ②0件	宮城野区保健福 祉センター
16	生活習慣病予防啓発 【新規】	一般市民	世界高血圧デー啓発	5月 パネル展 10・11月まつり	パネル展1回 資料配布数466枚 まつり実施3回 参加人数延べ968名（再掲）	宮城野区保健福 祉センター
17	糖尿病予防講座 【追加】	平成27年度の 特定健診受診 者で非肥満か つHbA1c要指 導者	糖尿病の予防についての講話	10月	実施回数 2回 参加者 延べ39人	宮城野区保健福 祉センター
18	生活習慣改善講座 【追加】	平成28年度の 特定健診受診 者で非肥満か つHbA1c要指 導者	生活習慣病予防のための健康教育	2月	実施回数 2回 参加者 延べ9人	秋保総合支所

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用, おすすめレシピ紹介, 関係機関等へのリンクなど	随時更新	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド, 健康づくりサポート店, 生活習慣病予防の食生活等のパネル展示, レシピや資料配布	通年	各区・支所ごとに設置	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり, イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介, 活用方法の普及など ・クイズや演習など, 媒体を活用した展示等	随時	実施回数: 13回 参加人数: 延べ3122人	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより, ホームページ, 庁内放送, パネル展, 資料配布等による普及啓発	9月	講演会: 3回 講演会参加人数: 150名 その他パネル展等での啓発	各区保健福祉センター 総合支所
5	各種研修会, 講座, 相談事業における情報提供	一般市民	・健康教育や生活習慣病予防講座, 健康相談などで, 食事バランスガイドの活用方法などを普及	随時	随時実施	各区保健福祉センター 総合支所
6	被災者向け健康情報紙の発行	仮設住宅居住者等	・栄養・健康情報, レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し, 仮設住宅等に配布する	年3回発行(宮総) 2回発行(若林) 12月 650部(泉)	宮総: 665部発行 若林区: 2611部発行 泉区: 100部発行 太白: 165部発行	宮城総合支所 若林区, 太白区, 泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者, スーパーマーケット, 飲食店, ホテル, 旅館等との連携により, 食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店推進事業	一般飲食店, 給食施設, 食料品等販売店 一般市民	・栄養成分表示, バランスメニュー, 野菜たっぷりメニュー, 塩エコ(塩分控えめ)メニューのいずれかを提供する店舗(食で健康サポート店)の登録を推進 ・食で健康サポート店を市民に周知, 栄養成分表示等の活用方法などを啓発	通年 6月食品衛生指導員向けにPR(泉)	登録店舗数: 56店舗 相談・指導件数: 3件 登録PR活動: 204件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	食に関わる場からの情報発信	スーパーマーケット・食品販売業者	野菜摂取・減塩に関するポップ, 食生活に関するポスターの掲示による一般市民むけの啓発	9月	3件	秋保総合支所

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母と子の食育教室 (今日もパクパク元 気っ子くらぶ)	幼児と保護者	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	4回 5・6・11・2月 児童館(高砂・福室・ 岡田・中野栄)	参加者数 ・高砂 11組 ・福室 16組 ・岡田 9組 ・中野栄12組	宮城野区保健福 祉センター

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子で農業体験in東 六郷	民生委員と、 企画に参加す る親子	若林区中央市民センターの企画に協力。収穫した野菜を使って塩エコ(減塩)メニューの調理実習・試食を行った。	12月 1回	実施なし	若林区保健福祉 センター
3	子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ	6月15日	参加者数 1年生10名、2年生13名、 3年生7名 計30名	泉区保健福祉セ ンター

具体的な取り組み ①-G-3 若い世代の食事づくり体験を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代への食体験 講座 【①-B-2再掲】	子育て世代	・食生活の基礎を、調理実習等を交え楽しく具体的に伝え、実践につなげる	・市民センター食 育講座7月1回、 児童館食育講座9 月1回	・八木山市民センター5名 ・上野山児童館親子7組14 名	太白区保健福祉 センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地 区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	6月食育月間中の 健康教育、パネル 展等にて配布	6月食育月間パネル展資料配 布 50部	宮城総合支所
2	保健センターまつり での情報発信	一般市民	・市民センターまつりと共催で行い、地域の情報発信	10月 東中田、 茂庭台、生出	栄養相談 19件	太白区保健福祉 センター
3	子育てについてのイ ベントでの情報発信 【①-A-2再掲】	子育て中の保 護者とその子 ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 お米に関する知識、手軽な料理、手作りおやつ紹介など	2016/10/26 会場：七北田体育 館	延べ参加者数 大人：213名 子供：259名 計472名	泉区保健福祉セ ンター

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	Morning Vegetable～朝食に野菜を～のレシピ配布	一般市民	・食育推進連携事業の一環として、たいはく朝市の来場者に、販売される旬の野菜を使った野菜料理レシピを、朝市の出店者を通して配布する	4～12月	季節毎ののレシピ4種延べ200枚発行	太白区保健福祉センター

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	368件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館(詳細及び概要版)6000部、パンフレット4種計19,000部作成	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	H29年1月17日開催	145名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座(担当テーマ:安全・安心の食生活)における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申込みの都度	市政出前講座:4回、90名 市民向け食品衛生講習会:60回、1040名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回	4回実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・「食肉まつり」における食品衛生普及啓発活動	H28年6月18日実施	アドバイザー2名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	特定給食施設：131件 その他の給食施設：137件	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	84,238件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します

	事業名	対象者	平成28年度実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリによる食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリによる食品衛生情報の提供	随時実施	103回、8,726件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）6000部、パンフレット4種計19,000部作成	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います

	事業名	対象者	平成28年度実施計画	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	115回、3,902名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	10月31日実施	125名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター